

【基本施策を推進する実施計画の事務事業】

NO	総合戦略事業	事務事業名	事業の概要 (令和3～5年度)	事業の成果 (令和3年度)	今後の課題・方向性	所管部局		関連事業 (決算事業別概要ページ)
						部局名	課名	
1		旧本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業費	旧本庁舎・第二庁舎跡地の活用策について一定の方向性を示す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップ 2会場 ・市民アンケート 1回 ・有識者会議等の開催 7回 ・庁内旧本庁舎等跡地活用検討会議 4回 ・一定の方向性を決定 	市民や各種団体がイベント等を開催できる環境整備や広域から様々な人々が集まりゆっくりと過ごせるような空間整備等により集客性を高めるとともに、中心市街地の他の施設と連携し、回遊性を向上させることなどをコンセプトに、一定の方向性を具現化することとしている。	企画推進部	政策企画課	70 下段
2		商店街にぎわい形成促進事業費	商店街の販売促進活動や異業種交流等及び来街者の利便性の向上等に向けた環境整備に係る経費を支援することにより、中心市街地の賑わい創出、産業振興を図る。	鳥取市商業振興補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・活動支援事業 3件 ・環境整備事業 0件 	アフターコロナを見据えた活動内容の見直しを促しながら、中心市街地の活性化を図る取り組みを支援していく。	経済観光部	経済・雇用戦略課	162 上段
3		街なか居住推進事業費	住まいに関する総合的な相談窓口の設置や街なか居住に関する情報発信、既存ストックを活用した居住に関する支援などを行うことにより、中心市街地への転入促進を図る。	住まいに関する総合相談窓口の設置 <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの情報ネットワーク整備運営 街なか居住推進のための公的支援 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市街なか空き家改修支援事業 0件 ・街なか居住推進アドバイザー派遣 0件 街なか居住体験施設整備運営事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・利用実績 1件 	鳥取市中心市街地活性化基本計画(第3期計画)では、若年層のまちなか暮らしの促進を目標としている。令和3年度は、まちなか居住体験施設や既存ストックを活用した居住促進施策、YouTubeを活用した情報発信などを実施した。既存の施策の見直しを含め、若年層の居住促進につながる、より効果的な施策の検討を引き続き行っていきたい。	都市整備部	中心市街地整備課	239 下段
4		中心市街地活性化助成事業費	中心市街地区域内における民間イベント等の開催を支援し、中心市街地の集客と賑わい創出を図るほか、中心市街地の活性化に取り組む人材育成につなげる。	鳥取市中心市街地賑わい活力向上事業補助金 <ul style="list-style-type: none"> ・賑わい創出イベント開催事業(通常) 8件 ・地域団体等連携イベント開催事業(通常) 1件 	令和3年度の補助金活用実績としては9件であったが、令和2年度は4件であったことを踏まえ、コロナ禍における取組方法を事業者が自ら検討し実施している。本市は引き続き、それら事業者への効果的な支援を実施していく。	都市整備部	中心市街地整備課	-
5		遊休不動産活用推進事業費	官民連携にて一定のエリアで集めた事業化に取り組み、エリア価値を高めるとともにその効果を中心市街地全体に波及させることを目指す。また、まちづくりに関するプレイヤーが活動しやすい環境づくりを行うことで、民間主導の持続的なまちづくりを促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取市まちなか遊休不動産活用マッチング制度の活用 0件 ・リノベーションまちづくり会議及び空き家会議(啓発イベント)の開催 各1回 ・遊休不動産活用における専門アドバイザー派遣 1回 ・民間事業者との連携、伴走支援 1件 	構想期間を延長した「鳥取市リノベーションまちづくり構想」を踏まえながら、遊休不動産利活用のための新たな補助制度を創設するなど、まちづくりに関するプレイヤーが活動しやすい環境づくりを行っていく。	都市整備部	中心市街地整備課	240 上段
6		中心市街地活性化推進事業費	中心市街地活性化基本計画に掲載する事業を推進し、中心市街地の活性化を図る。具体的には、中心市街地に関する市民への情報発信として、エリア情報誌「わか」の作成や、来街者の回遊性を高めるためのルートマップ「まちなかマップ」の発行、デジタルサイネージの活用等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地エリア情報誌「わか」の発行 年3回 ・まちなかデジタルサイネージの運用 	まちなかの情報を中心に平成22年より継続して発行を行っている中心市街地エリア情報誌「わか」の内容を充実させることと併せ、デジタルサイネージなどの新たな手段も取り入れながら、まちなかに人を呼び込んでいく。	都市整備部	中心市街地整備課	240 下段
7		鳥取駅前太平洋線再生プロジェクト事業費	市道駅前太平洋線「バードハット」の活用やイベントの経費の補助により、鳥取駅周辺への集客による賑わい創出を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・市道駅前太平洋線賑わい空間活用事業 イベント開催数 4回 	イベントにより集客した来街者のまちなか回遊の喚起と、定期型イベント等での活用による集客・来街頻度の向上を目指す。また、商店街の振興や日常的な賑わい創出につながる活用方策について検討を進めていく。	都市整備部	中心市街地整備課	241 下段

8	(再掲)鳥取駅周辺にぎわい創出事業費	本市が目指す「多極ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向け、鳥取駅周辺の都市機能高めるとともに、中核市のエントランスとしての鳥取駅周辺の再整備を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥取駅周辺フリーWi-Fiの年間一日平均利用回数38回となり、4月時の34回に対し10%以上の向上を達成。 ・オープンスペース活用社会実験は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて事業中止。 	<p>鳥取駅南側の公共空間へWiFi環境を拡充し、市民や来街者に活用していただき、回遊性や滞在性の向上を図っていく。</p> <p>オープンスペース（公共空間）を活用し、日常的な賑わいを生み出すことは中心市街地の活性化にとり重要な要素の一つであり、コロナ後の復興に向けて新たな仕組みを検討していく。</p>	都市整備部	中心市街地整備課	242 上段
9	まちなか情報誌発行支援事業費（新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（国3次補正））	中心市街地の活性化について、市民への情報発信や中心市街地に特化したエリア情報誌「わか」のデジタル版を作成し、若い世代へ向けて情報発信を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル版「わか」の令和3年度中の閲覧件数：2,592件 	<p>デジタル版「わか」の閲覧件数は目標値を上回っており、まちなか情報への関心が一定程度あることが確認できた。引き続き、SNS等を活用しながらまちなか情報の発達に努めていく。</p>	都市整備部	中心市街地整備課	355 下段